

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第38週 (ARIのみ第37週) の発生動向

□ トピックス

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

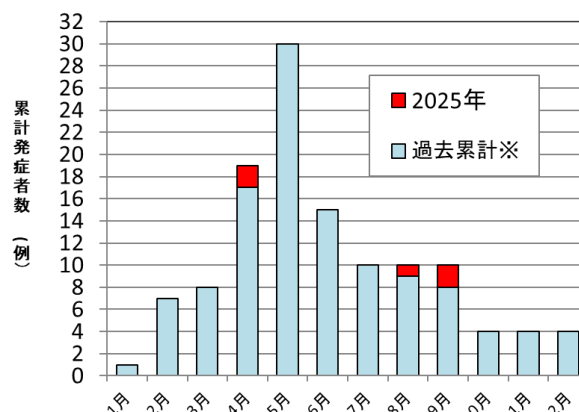
(全数報告の感染症)

高千穂保健所管内から報告があった。患者は70歳代の男性で、刺し口があった。県内での報告は、累計122例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
1	1	2	5
60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
27	46	33	7

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2024年まで

□ 全数報告の感染症 (38週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 3 例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1 例、レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：百日咳 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	30歳代	男	結核性リンパ節炎	その他
		高鍋	90歳代	女	結核性胸膜炎	呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	30歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O115(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	高千穂	70歳代	男	—	発熱、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口
	レジオネラ症	延岡	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、その他
5類	百日咳	宮崎市	5～9歳	女	—	持続する咳
			10歳代	男	—	持続する咳
			20歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
			30歳代	女	—	持続する咳
			40歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 38 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 709 人(定点当たり 37.2)で、前週比 94%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は R S ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、感染性胃腸炎であった。また、第 37 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,496 人(定点当たり 53.4)で、前週比 96%とほぼ横ばいであった。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 384 人(13.7)で、前週比 76%と減少した。年齢群別は 20 歳未満が全体の半数、60 歳以上が全体の約 2 割を占めた。

【伝染性紅斑】

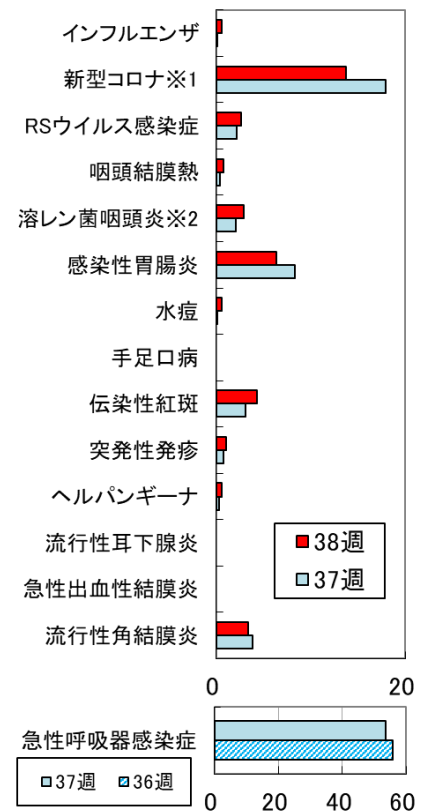
報告数は 64 人(4.3)で、前週比 139%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.4)の約 10.0 倍であった。年齢群別は 3 歳から 7 歳が全体の約 8 割を占めた。

【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 44 人(2.9)で、前週比 142%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 2.1 倍であった。年齢群別は 5 歳から 7 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

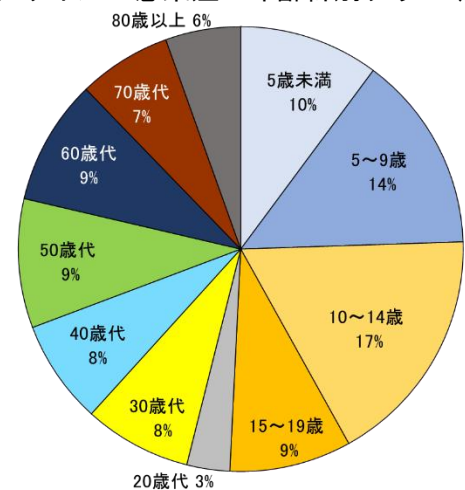
《前週との比較》



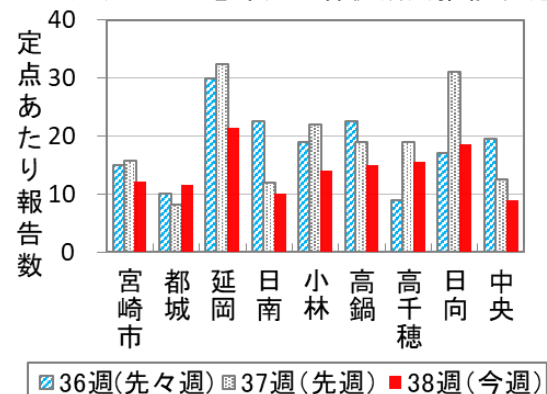
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

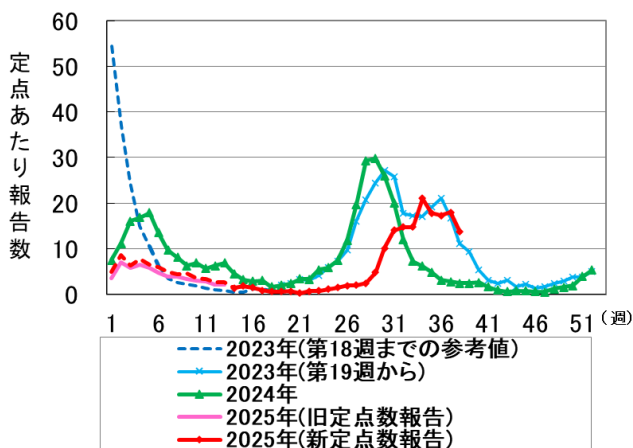
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第 38 週)



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)



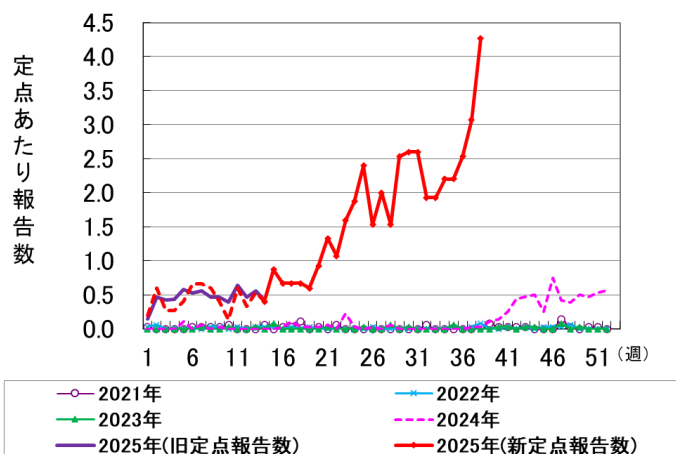
新型コロナウイルス感染症 発生状況



※2025 年(新定点数報告)の第 14 週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

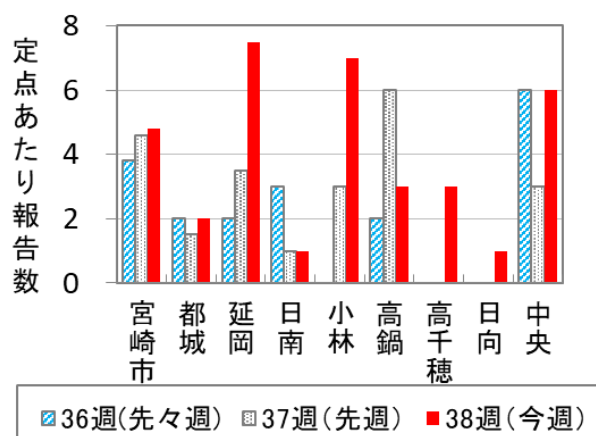
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週
～第 18 週分のデータは、定点医療機関から
の報告数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 発生状況

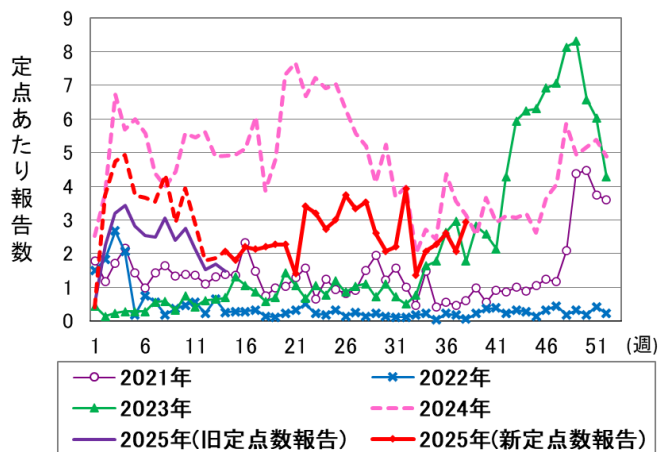


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)

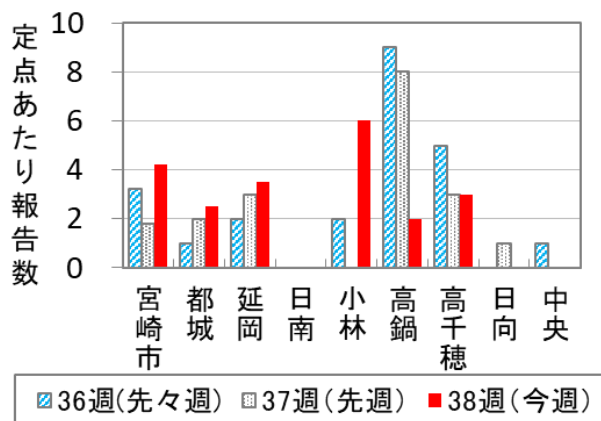


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は3例(定点当たり0.4)で、宮崎市(2例)、高鍋(1例)保健所から報告があった。年齢は5～9歳が2例、10～14歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(4.8)
都城	水痘(4.0)、伝染性紅斑(2.0)
延岡	伝染性紅斑(7.5)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(25.0)、伝染性紅斑(7.0)
高鍋	伝染性紅斑(3.0)
高千穂	伝染性紅斑(3.0)
日向	なし
中央	伝染性紅斑(6.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

（2025 年第 37 週：9 月 8 日～9 月 14 日搬入分）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1 pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			6
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		1
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			2
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			3
受付検体数			12

○ 急性呼吸器感染症（ARI）※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※¹ 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※² 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

🇯🇵 全国 2025 年第 37 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核	238 例
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	188 例
4類感染症	E型肝炎	6 例
	オウム病	1 例
	デング熱	5 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例
	急性脳炎	5 例
	後天性免疫不全症候群	13 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	梅毒	149 例
	百日咳	1552 例
	麻しん	1 例
	腸チフス	2 例
	A型肝炎	2 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	日本紅斑熱	19 例
	ウイルス性肝炎	4 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	ジアルジア症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例
	播種性クリプトコックス症	3 例
	麻しん	1 例
	エムボックス	1 例
	チクングニア熱	1 例
	レジオネラ症	38 例
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	14 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	水痘（入院例）	6 例
	破傷風	1 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	3 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑、ヘルパンギーナであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 111%と増加した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 31,831 人(8.4)で前週比 104%とほぼ横ばいであった。宮崎県(17.9)、愛媛県(14.9)、長崎県(14.6)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 3,846 人(1.7)で前週比 91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.3)の約 5.0 倍であった。山形県(5.1)、佐賀県(4.8)、大分県(4.3)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	15	7	6			1				1
	定点当り	0.07	0.54	0.78	1.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	502	384	110	46	64	20	28	30	31	37	18
	定点当り	17.93	13.71	12.22	11.50	21.33	10.00	14.00	15.00	15.50	18.50	9.00
RSウイルス感染症	報告数	33	39	16	5	14	3					1
	定点当り	2.20	2.60	3.20	2.50	7.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	6	11	9				1	1			
	定点当り	0.40	0.73	1.80	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	31	44	21	5	7		6	2	3		
	定点当り	2.07	2.93	4.20	2.50	3.50	0.00	6.00	2.00	3.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	125	96	16	8	12	7	25	3	1	19	5
	定点当り	8.33	6.40	3.20	4.00	6.00	7.00	25.00	3.00	1.00	19.00	5.00
水痘	報告数	2	9	1	8							
	定点当り	0.13	0.60	0.20	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	46	64	24	4	15	1	7	3	3	1	6
	定点当り	3.07	4.27	4.80	2.00	7.50	1.00	7.00	3.00	3.00	1.00	6.00
突発性発しん	報告数	11	16	5	1	4	2	2	1		1	
	定点当り	0.73	1.07	1.00	0.50	2.00	2.00	2.00	1.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	8	2		1	1	1			3	
	定点当り	0.27	0.53	0.40	0.00	0.50	1.00	1.00	0.00	0.00	3.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	23	20	14	2	4						
	定点当り	3.83	3.33	4.67	1.00	4.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	4	3	2					1			
	定点当り	0.57	0.43	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第37週 (09月08日～09月14日)

		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1558	1496	325	137	209	121	124	98	94	251	137
	定点当り	55.64	53.43	36.11	34.25	69.67	60.50	62.00	49.00	47.00	125.50	68.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数 (2025年 第1週 ～38週 保健所受理分)

2類感染症	結核	97例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	26例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例
	レジオネラ症	6例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	梅毒	98例	播種性クリプトコックス症	1例
	百日咳	1,353例(5)		

()内は今週届出分、再掲